



その他の取組

様式2

調達改善計画		令和元年度年度末自己評価結果(対象期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日)		
具体的な取組内容	新規 継続 区分	特に効果があった と判断した取組	取組の効果 (どのようなことをして、どうなったか)	
			定量的	定性的
・見積書の取得について、競争性を高めるため、3者以上から取得する取組を実施	継続	-		
・情報システムの仕様書について、目的・用途が仕様の内容に見合ったものになっているか等の観点から、外部有識者(CIO補佐官等)による審査を実施  ・情報システムの運用状況を踏まえたコスト削減など、必要に応じて改善を実施し、次回調達にも反映(外部有識者(CIO補佐官等)も必要に応じて審査)  ・システム監査計画(内部監査)に基づきシステムが有効に機能しているか、システム投資が妥当・有効であるかについて検証するとともに、指摘事項の改善をフォローアップ	継続	-		
・庁舎エントランスに調達情報／オープンカウンタコーナーを設置し、見積依頼書を公開配布	継続	-		
・今年度においても、前年度と同様に共同調達を実施  ・汎用的な物品・役務の発注について、発注単位の集約を検討する等、更なる共同調達の実施に向けた方策を検討	継続	-		
・コーポレートカード方式での海外出張経費の精算やETCカードでの高速料金の支払いに際して、クレジットカード決済を実施	継続	-		
・入札情報等の調達情報をソーシャルメディア等にて配信	継続	-		
・情報システム調達に関する当庁の取組と関連知識を習得させるために、情報システム担当者等研修を実施	継続	-		

外部有識者からの意見聴取の実施状況  
(対象期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日)

外部有識者の氏名・役職【赤松 幸夫・弁護士】 意見聴取日【令和2年6月22日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一者応礼、一者応募関連の競争性確保についての取組には相応の努力・工夫が認められる。ついては、今後ともそれら各取組を徹底されたい。</li> <li>○情報システムの有効性やコストについての取組も相応に評価し得るところ、今後とも近時の技術的な進歩を十分に考慮した取り組みをされたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご意見も踏まえ、引き続き一者応礼、一者応募の改善や、情報システムへの各取組の実施等に努めることにより、調達改善を進めていく。</li> </ul>

外部有識者の氏名・役職【石島 隆・法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授】 意見聴取日【令和2年6月29日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報システム関連調達における「仕様書の見直し」については、継続発注が見込まれる案件において、既存の事業者以外へ意見聴取を行ったものの、仕様に係る具体的な意見は得られない状況のため、事業者から意見を得る以外の取り組みも必要ではないか。現在稼働中又は開発中の情報システムで利用されている技術の棚卸を行い、汎用的ではないソフトウェアや開発技術、旧世代のソフトウェアや開発技術などを洗い出し、今後の仕様の見直しに繋げていただきたい。</li> <li>○昨年度のWebページのスマートフォン対応の案件でも、新しい技術(コンテンツマネジメントシステム)が使われていれば、特に対応を要しないにも関わらず、スマートフォン対応のために開発費用が掛かっているとのことで、一度に新しい技術に乗り換えはできないにしても、計画的に順次入れ替えていくことが今後の効率化に繋がるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○競争性の確保のため、仕様書の見直しに必要となる情報システムを構成する技術的要因の把握に当たっては、既に参入している事業者以外の事業者も含む、より多くの事業者から具体的な意見の徴取に取り組んでいく。</li> <li>○情報システムの調達にあたっては、中期的な技術更新の必要性や新技術導入の適否等を議論することにより、調達改善を進めていく。</li> </ul>

外部有識者の氏名・役職【大村 廣・公認会計士】 意見聴取日【令和2年6月22日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一者応礼・応募の改善に向けた取り組みは評価できる。有効と思われる取り組みは多岐に亘るが地道な努力を継続していただきたい。</li> <li>○価格交渉の知見は分析の上集約して、有効な知見は今後の調達改善に活かしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一者応礼、一者応募への改善取組を継続して進めるほか、価格交渉における知見も集約し、調達改善を進めていく。</li> </ul>

外部有識者の氏名・役職【堀江 正之・日本大学商学部教授】 意見聴取日【令和2年6月22日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当庁で大きな予算を占める一方で、事業達成にとつての戦略的な意味を持つ情報システム関連調達については、考えられ得る必要な対策を実施しており、調達プロセスの透明性についても十分に配慮されていることから、引き続き、継続していただきたい。</li> <li>○その上で、長期間にわたって対策の効果がみられない場合には、その根本原因の究明を行うようにし、かつ、当庁のシステムの特長性を踏まえた十分な情報開示に努められたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報システムの調達に関しては、継続的な競争性確保に向けた各種取組の必要性を認識している。得られる効果の面でも随時検証を行いつつ、改善対策を実施していく。</li> </ul>

外部有識者の氏名・役職【吉野 直行・慶応義塾大学名誉教授】 意見聴取日【令和2年6月23日】

意見聴取事項	意見等	意見等への対応
調達改善計画に関する取組全般について 調達改善計画に関する取組全般につきまして、ご意見をお聞かせ願います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公募随意契約による契約締結前の価格交渉や見積額の精査にあたっては、人件費単価や積算物価が、業種別のインフレ率や市場変動の影響を踏まえても、妥当な金額の範囲かどうか、検証していただきたい。</li> <li>○価格交渉の知見集約には、得られるまでの過程も含めて事後検証できるよう、フィードバックできるようにしていただきたい。</li> <li>○システム調達に関しては、CIO補佐官はもとより他の外部有識者も含めて、システムの構成や価格交渉面でアドバイスを適切にコメントしてもらえるよう、人員選定を考慮していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご意見いただいた視点や取組手法を踏まえ、調達に係る者や外部有識者からのアドバイスも得つつ、引き続き調達改善の取組を進めていく。</li> </ul>